



# 第7回 JBA オールスター特集

2014年1月18日・19日、北九州 TOTO 第二工場体育館で、「第7回 JBA オールスター ～もう一つの大会～」が開催されました。無事に開催できたのも、関係者の皆様、応援頂いた皆さま一人一人のお陰です。ありがとうございました。

また、参加者みんなが「オールスター」、子どもたちを主役!!と掲げられたテーマについても、子どもたちの笑顔がすべてを表現していると思います。

**【参加者】**(順不同)Tornadoes Academy 北九州 Orange Raise 32名、Tornadoes Academy 愛媛 gaNeza 13名、Tornadoes Academy 熊本 REDBEARS 10名、Torandoes Academy 熊本合志 Perfect Combustion 7名、全国からの参加コーチ 19名、九州共立大学女子バスケットボール部の皆さん、各地区の保護者、関係者の皆さま

**【協賛】**Dream7 Japan/MONOGRA/UPSET/GLC/IBL/ほか多数の企業の皆さま、伊藤邦茂、片岡大晴、奥本友人、久山智志、飯島康夫、早川大史、大山裕太郎、伴晃生の Tornadoes 戦士の皆さん ※敬称略・順不同 ありがとうございました。

**【各賞の受賞者】**〈JBA 賞〉納豆ネバネバ軍団 (熊本合志 Perfect Combustion)



### 〈U-15／個人賞〉

宮下美優 / 愛媛 gaNeza (ナイスプレパレーション賞)  
池松ほのか / 熊本 REDBEARS (ナイスプロテクション賞)  
山口丈太 / 愛媛 gaNeza (ナイスチェンジ賞)



### 〈U-12／個人賞〉

山野猛 / 熊本合志 Perfect Combustion (ナイスハンドル賞)  
本田溪太郎 / 熊本合志 Perfect Combustion (ナイススマイル賞)  
三好夢歌 / 愛媛 gaNeza (ナイスルックアップ賞)



### 〈U-10／個人賞〉

浅野由翔 / 北九州 Orange Raise (ナイスルーズボール賞)  
新谷くるみ / 北九州 Orange Raise (ナイス逆の手賞)  
矢野葉子 / 愛媛 gaNeza (ナイスボイス賞)



〈U-15／カテゴリー賞〉服部空線(北九州 Orange Raise)、佐々木瞭(熊本 REDBEARS)、長曾我部汐音(愛媛 gaNeza)

〈U-12／カテゴリー賞〉武田直也(北九州 Orange Raise)、新谷美心彩(同)、浅野光希(同)、宮下美恋(愛媛 gaNeza)、齋野結生(熊本合志 Perfect Combustion)

〈U-10／カテゴリー賞〉小堀響(北九州 Orange Raise)、塚原レイ(愛媛 gaNeza)、佐藤洗晟(熊本合志 Perfect Combustion)、中川叶多(熊本 REDBEARS)、岩部七夏(同)

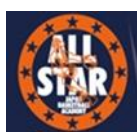
〈IBL 賞〉小森百華(北九州 Orange Raise)

《Special Thanks》



北九州 Orange Raise の保護者のみなさん

九州共立大学女子バスケットボール部のみなさん



## Japan Basketball Academy オールスターとは…?

「参加者みんながスター」

JBA オールスターをひと言でいうとそういう大会です。熊本で開催された第0回から含めると、広島、大阪、愛媛と会場を変えながら今年で8回目を迎えました。参加した選手たちが、日頃培った技術を存分に発揮し、ひとりひとりが夢に向かって世界に羽ばたく「スター」として自律・自立できる存在に。そんなテーマを掲げて、これまでゲームや独自に考案したスキルチャレンジ、フリースタイルなど時々のコーチ陣が試行錯誤しながらプログラムも組み立ててきました。

「もうひとつの大会」と銘打たれた今回の大会では、愛媛の塚原あいりコーチ、熊本の北恵繭コーチという若い2人の女性コーチが実行委員長となり、開催地・主管チームとしてホスト役を務めた Tornadoes Academy 北九州 Orange raise の小森隆史コーチと綿密に連携を取りながら、従来行われてきたチーム同士の勝ち負けだけに捕われない形でのリーグ戦、2日間にわたるクリニック、コートの一面のリングが使えないことを逆手に取った「ヒストリカルゲーム」をメインコンテンツとして開催しました。

*Tornadoes 戦士の皆さん提供の賞品がたくさん!*



早川大史選手からサイン入りスウェット  
奥本友人選手からサイン入りユニフォーム  
片岡大晴選手からサイン入りリバーシブル  
大山裕太郎選手からサイン入りバッシュ  
久山智志選手からサイン入りリバーシブル  
伴晃生選手からサイン入りバッシュ  
伊藤邦茂選手からサイン入りユニフォーム  
飯島康夫選手からサイン入り飯島康夫オリジナルお酒

**ありがとうございました!**

# 大会フォトギャラリー



Bコートでは、歴史を感じよう！洗濯カゴ(本当は果物カゴ)でクラシカルゲーム開催！！！！

Tornadoes Academy 北九 Orange Raise の ryu コーチ 記念パーカー。コーチも選手もお揃い



お昼ごはんは ryu コーチ行きつけの  
カレー屋さんからのケータリング



U-15 チームと大学生の試合は白熱しました。  
皆感動...  
大学生の皆さんの魂あふれるプレーに感謝します。

今回のテーマは「挑戦」。

選手たちはゲーム中「挑戦」し続けていました。

実行委員長 最年少である、あいりコーチ、まゆコーチの「挑戦」でもありました。

北九州初開催という大役を任された、ryu コーチの「挑戦」でもありました。

Japan Basketball Academy は 2014 年、また新しく「挑戦」を始めます。

子どもたちに夢のある未来を。

そのためには、大人が子どもたちに背中を見せ続けるだけ…

それでは次回の JBA オールスター もう一つの大会で！！！！



第7回 JBA オールスター本当に最高でした！最高の環境、最高の仲間、最高の笑顔。『らしさ』全開の2日間でした。  
こどもたちの Challenge する姿かっこよかった！楽しませてくれてありがとう！大会の最後に聞いた『バスケが好き！』  
『楽しい！』みんながこの気持ちはずっと持てますように。そんな環境がいっぱいになるようにがんばろう。

私自身まだまだ挑戦は始まったばかりです。今大会で学んだ事。

『できるしこ！』 仲間って最強！

無事に、開催することができ、成功できたのもたくさんの方々のおかけです。実行委員長として今大会に関わらせて幸せです！

本当にありがとうございました。

あいり

## 第7回 JBA オールスターを終えて

Dream7LLC 代表 西田辰巳



JBA オールスターも8年。一步一步だけど、よくここまで来たな〜って感じます。会場に来た人達は、気づいてたと思います。個人スキル！…うん、確かにみんな凄い、上手い。チームプレーを教える前に、個人技があれだけできると、部活の先生も嬉しいだろうなって程、いい感じです。

でもその事以外に、こんな事もありました。それが私の一番嬉しいこと。

湧いてきている…確かに…教えてないのに、押し付けてないのに、湧いてきている。それは「自立」と「自覚」です。会場に「しずかに！」「おしゃべりをしない！」「騒がない」など、一般的なルールはありません。というか、そんなルールを作ることすら忘れてまし

た。なのに、会場で「騒ぎ出す選手」「遊び出す選手」「泣き出す選手」「集中力がなくなる選手」「ゲームをちゃんと見ない選手」が、一人もいませんでした。だから、会場で「コラッ」て怒っているオトナの声、影で説教しているコーチの話なんか、まったくなかった。

自分の出番がないと、試合をじ〜っと見てる小学校低学年。自分の出番がないと、アンダー15の選手にお願いして、空いているスペースでスキルトレーニングを教わる小学校低学年。一見、退屈して、すぐに遊んだり、泣いたり、わがまま言いそうな小学校低学年の子供達が「憧れ」をもってアンダー15の選手達に教えを求める。そして、それを自然に対応できるアンダー15の選手達。我々大人（コーチ）は、一切言いません。「そうね」とも、「それが年上のあり方」などとも。「暇なら、空いている場所と時間を見つけて、自分で考えて練習せい」とも。全て、自分達の湧いてきたものが、そうさせているだけです。

これが私の思うエリートです（教えられず理解できる人）。エリートになる道に乗って成ったのではなく、気づけば自立心が芽生え、創造性が発達し、その場の優先順位を感じ取れる。この10年で、気づけば、そんな環境が出来上がってました。バスケットを通して、リーダーが育ってきました。10年後、20年後、間違いなく、日本人リーダーが世界の中で増えている。少なくとも、ここには、その卵がいっぱい！そんな事にも気づかされたJBA オールスターでした(´▽`)

しかし…危ない、あぶない。こんな子供達が増えるのに、俺たち大人が大人になってないと突き上げくらうぞ！俺も自立と自覚ができないと…。最後に何故こんな選手が育ってきたか？ですが、そのポイントは…

- ①ミニマムを与え、マキシマムは自分で創造させる＝自尊心作りの教育姿勢。
- ②コーチは、スキル指導を学ぶ前に、哲学を構築する。
- ③民主主義の実践 ルール作りと賞と罰を徹底する。

そして、ダメだし指導はしないから「影」を作ったり、「自分に嘘をつく」選手がいなくなったから。ちなみにそんな指導法は今、現 Dream7 Japan のトルネードアカデミーで行ってます。

### Coach がっちゃんをつぶやき

自然だよ〜。ダメ出しされて育ってきた子供、厳しい日本式の規律を守られてきた子供。素晴らしい子もたくさんいます。しかし、ほんの一部のような気がします。理不尽を小さい頃から、感じると「影」で怒られないように悪戯をする。悪戯は、理不尽な事に対するストレスの発散なのかな。大人は、「理不尽」を理不尽と思わず、いいことだと思って、子どもたちのためだと思って、知らずに教育してしまう。だって、今の大人も子供の時そういうふうで育てられたから。しょうがないよね。

僕も8年前は、わからなかった。少し前まで、小さい頃に教わっていた理不尽を正当化していた部分もあった。しかし、この8年間多くの大人たちと意見を交わし、自由とはなにか、自立とはなにか、自尊心とはなにか、「自」を議論、研究してきた。今回のオールスター。答え合わせが出来ました。「自ずから、動くU-15/自ずから、U-15を真似る、U-12/自ずから、本当の楽しいことを考え、どうしたら楽しいかを実践したU-10」

「ちゃんとせい！」「なんで言わんとわからんや！」「人に迷惑かけるな！」「きさつと並ばんや！」などの、声は一切なく、子供たちは自ら動いていました。落ちこぼれる子は一人もいない。こんな子どもたちは、皆、社会に出た時に指示が無いと何も出来ないという大人にはならないと思う。だって、今、指示が無いから(笑)。背中を見せ、促すのみ。

最後に、今のこれからの大人たち、今の子供たちが大人になった時…置いて行かれちゃうかもね〜。成長をやめたら、大変なことになるよ〜

※Japan Basketball Academy Monthly Newsは原則として月1回発行します。HOOPにまつわる楽しい話題、ためになる情報をお知らせください。

発行責任者:JBA 愛媛 牧野淳 mackee1968@gmail.com